

# 2 学年通信

新宮町立新宮東中学校  
令和7年9月18日 第47号  
文責:江頭 俊輔

[9月12日は『宇宙の日』!]

9月12日は『宇宙の日』でした。毛利衛（もうり まもる）さんが宇宙飛行士として、日本人で初めてスペースシャトルで宇宙へ飛び立った1992年9月12日を記念して制定されました。1992年の92も「きゅう・じゅうに」と読めることから、語呂合わせがよいと話題になっています。

みなさんは宇宙についてどんな考えをもっていますか？最近では、宇宙旅行も実現可能かも？という報道が流れていることから、『私も宇宙に行ってみたい!』と思っている人もいるかもしれません。技術の発達とともに、遠かった宇宙が少しずつ私たちに近づいている感じがします。

2学期の始業式に校長先生のお話の中に登場した植松電器の植松努さん（右図）は、みんなが憧れる宇宙というものが、みんなに「どうせ、無理」と思わせるきっかけになっているのではないかと、だから植松さん自身が宇宙開発事業に挑戦することを通して、**みんなが「どうせ、無理」と思わなくな**



**る世界を創っていきたい、これが植松さんの「夢」だと考えています。**考え次第で人生まで変わることがよくわかります。難しい夢を実現しようとしている植松さんの生き方には学ぶところが多いです・

[チ。～地球の運動について～]

私が宇宙関係で最近、感銘を受けているのは漫画『チ。～地球の運動について～』です。これはNHKでもアニメで放送されました。（ABEMAでも見ることができます！ただ、少し暴力的なシーンがあるので、苦手な方はやめておきましょう。）この『チ。～地球の運動について～』のテーマは大きくいうと『宇宙』、もう少し詳しく言うと『天動説』と『地動説』についてです。『天動説』とは、地球が宇宙の中心にあり、太陽や月、その他の惑星が地球の周りを回っているという説です。『地動説』とは、太陽の周囲を地球をはじめとする惑星が回っているという説です。**（詳しくは、理科担当の古川先生に聞いてください！）**

紀元前頃から『天動説』が、キリスト教の教え（地球が宇宙の中心である）と相まって、信じられてきました。この物語の舞台は15世紀、まだ望遠鏡も発明されていない中、肉眼による観察と数学的な考察で数名の人々が『地動説』を立証し始めます。ただ、キリスト教を信仰する教会側は、「今まで信じてきた思想が崩れる→教会の権威が失墜する」と考え、この『地動説』信者を【異端者】として迫害します。異端者とされながらも、『地動説』を広めようと奮闘する姿の中に、「チ」、「血」、「知」などなど、、タイトルの「チ。」を回収する描写が含まれています。『地動説』はどうなるのか、『地動説』を守り抜いてきた人々の思いはどうなるのか、最後まで目が離せない物語です。

[未完成、だから、、、]

さて、まず私が紹介したいのは、このアニメの主題歌「怪獣/サカナクション」です。この歌のサビの歌詞に私はとても惹かれ、私もそんな情熱を絶やさずに生きていきたいと思いました。その歌詞が、、

**『この世界は好都合に未完成 だから知りたいんだ』**

素敵なお表現だと思いませんか？**完璧に作られているように見える世界ですが、見方によっては、未完成で、見方によっては、それが好都合なのかもしれません。**学問をする最も根源的な理由がこの一説には含まれていると思います、紹介しました。やはり、知りたい！学びたい！という気持ちは大切にしたいですね。